第10回 HTMLの基礎

- HTMLとは
- 作成手順
- 基本形
- 改行と段落
- 整形済みテキスト
- 横線
- 見出し
- リスト1(UL,OL)
- リスト2(DL)
- インライン画像
- リンク



重要:http://www.w3.org/MarkUp/ 参考:http://kanzaki.com/docs/htminfo.html

HTMLとは

- HyperText Markup Language
 - ハイパーテキスト:テキストを超えたもの。
 - マークアップ:<…>で指示する。
- 規格
 - 厳密には、http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd 他に、loose.dtd,frameset.dtd などで定義
- WWW, http, htmlの関係
 - WWW: World wide web
 - http:hyper text transfer protocol
- 注意
 - HTMLをどう表示するかはブラウザー次第(I.E.とNetscapeで異なる)。
 - 規格は改定されており、使われなくなった古い規格に注意。
 - 巷の解説には間違いがよくある(この資料も含めて!)。
 - HTMLはできるだけ新しい規格に基づいて書くこと。





文書ファイルの中身を1234として適当な名前で保存し、 ブラウザーで確認してみる。 *:ブラウザーで見られるから正しいhtml文書とは限らない。



<html> <head> <title> 農学太郎のホームページ</title></head></html>	e> ヘッダー部 タイトルは中身を的確に表 すものを必ずつける		
<body> ようこそ農学太郎のページへ。 ただいま工事中です。 </body>	<mark>本体</mark> ここが実際に表示される		
マークアップの方法: <要素>内容 要素 開始タグ 終了タグ (一部省略可)	マークアップは必ず半角で入力する。 なお、大文字・小文字は問わない。		
上の内容をエディターで作成し、index.htmlという名前で保存。 ブラウザーで内容を確認する。			





ブラウザーで内容を確認する。



<html> <head> <title> 農学太郎のホームページ</title> </head> <body> 前に見たように、html文書ではブラウザー上で整形 されます。 段落は、 ... もし、 で囲む。 テキストで見たままのように 表示させる場合は、 この様にします。 </body> </html> 上の内容をエディターで作成し、上書き保存。テキストは、適当に アレンジして構わない。 ブラウザーで内容を確認する。



<html> <head> <title> 農学太郎のホームページ</title> </head> <body> html文書で、区切りの横線を入れる時は以下のように 横線は、<hr> します。 を入れる。 <hr> 上に横線が入ったのをブラウザーで確認して下さい。 </body> </html> 上の内容をエディターで作成し、上書き保存。テキストは、適当に アレンジして構わない。 ブラウザーで内容を確認する。

見出し

<html></html>		
<head> <title> 農学太郎のホームページ</title></head>	見出しは	
		/hn>
<body></body>	n=1,2,3,	4,3,0
<h1>見出し</h1>	で囲む。	
<h2>見出しとは</h2>		
章や節、小節の見出しに相当するものである。ただし、階層構造		
ははっきりしていない。		
<h2>見出しの設定の仕方</h2>		
このように囲んで設定する。		
<h3>見出しの種類</h3>		
h1からh6まである。実際は、h3ぐらいまでしか		
使われていないようである。		
<h2>見出しの表示のされ方</h2>		
数が小さいほど大きく表示される。		

リスト1(UL, OL)

<html>

```
<head>
<title> 農学太郎のホームページ</title>
</head>
 <body>
html文書では、リストを三つの形式で作ることができる。
< u >
Unordred list (UL)
li>0 rdered list (0 L)
Description list (DL)
この様に、リストの種類を示すタグの間に、リストの項目(List item,
LI)を表すタグと項目を記述する。なお、上はULの例である。
< 0 >
                            リストの形式を指定し、
Unordred list (UL)
                            ...
0 rdered list (0 L)
                             ...
Description list (DL)
                            で囲む。
</0|>
                            項目を
 </body>
                             ... と記述
</html>
```

リスト2(DL)

```
<html>
<head>
<title>農学太郎のホームページ</title>
</head>
</dl>
```

インライン画像

<html> <head> <title> 農学太郎のホームページ</title> </head>

<body>

 文書に画像を貼り込むことができます。例えば、
 src="": 画像ファイルを指定。この場合は、html文書と同じ場所にある。
 alt="": ブラウザーで画像を表示しない場合に表示されるテキスト。

src=""にURLを書くことも出来ます。

リンク

```
<html>
<head>
<title> 農学太郎のホームページ</title>
</head>
 <body>
文書中で他の場所ヘリンクを張ることも出来ます。<br>
例えば、<a href="http://www.tohoku.ac.jp">東北大学のトップページ</a>
とします。「東北大学のトップページ」というのが青のアンダーライン付きで表示
され、ここをクリックすると。。。。後は分りますね。
文書中の特定の場所へ飛ばすことも出来ます。例えば、
<a href="#epilogue">エピローグへ </a>とします。クリックしてみましょう。
<h2><a name="epilogue">エピローグ</a></h2>
> 最後になります。ここに表示が移ることを確認しましょう。それでは、また
来週。
 </body>
</html>
        宿題:http://kanzaki.com/docs/htminfo.html
           を次回まで読んでおくこと。
```